

令和6年度 在宅医療と介護の市民講演会を開催しました

テーマ：『在宅医療ってなあに？～あなたを支える医療と介護～』

開催日：令和6年7月13日（土） 会場：高来ふれあい会館 参加者：84名

【講師】

諫早市東部地域包括支援センター

橋本 一幸様

藤山循環器内科医院 院長 藤山 友樹様

助村歯科医院 院長

助村 大作様

野のはな薬局

齋藤 祐一郎様

【講演テーマ】

「地域包括支援センターの役割」

「人生の最期は自分らしく

～在宅医療について～」

「口腔ケアの実践と訪問診療」

「薬剤師と在宅医療」



高来ふれあい会館にて、市民講演会を開催しました。

はじめに、東部地域包括支援センターの橋本さんより、地域包括支援センターの役割について、お話しいただきました。地域包括支援センターが高齢者の方々の様々な相談を受けてくれる窓口であることがわかり、安心された方も多かったように思います。

藤山先生からは、事例をご紹介していただきながら、患者さんもお家族も後悔のないように、在宅医療は安心して穏やかに過ごすための選択肢の一つであるとお話しいただきました。また、多くの専門職が自宅での療養を支え、介護サービスなども利用しながら、最期まで自分らしく過ごすことができるとのお話もありました。

助村先生からは、口腔ケアだけでなく、噛むことの大切さや唾液の働きなど、いつまでもおいしく食べられるようにとお話しいただきました。訪問歯科診療の紹介もあり、盛りだくさんの内容でした。

齋藤先生からは、薬局薬剤師はどのようなことができるのか、わかりやすくご説明いただきました。どのような方が訪問対象となるのか、医師や他職種との連携など、今まで知らなかった薬剤師の役割を知ることができたのではないのでしょうか。

参加者からは、「日頃の生活の中で、いっぱい知らないことがあり、本日の講演を聞き、勉強になりました。」「自分や家族が、介護が必要になった時、予後が短い場合、より納得できる暮らしが出来るように家族で話し合っておく必要があると思った。」など、ご意見をいただきました。

当センターでは、今後も市民の皆様を対象に、
市内各地域で「在宅医療と介護の市民講演会」を開催していきます。
次回は令和7年2月15日(土) 小栗ふれあい会館です。

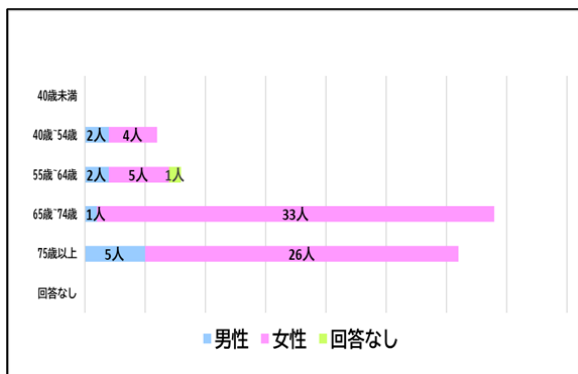


令和6年度 第1回「在宅医療と介護の市民講演会」アンケート集計

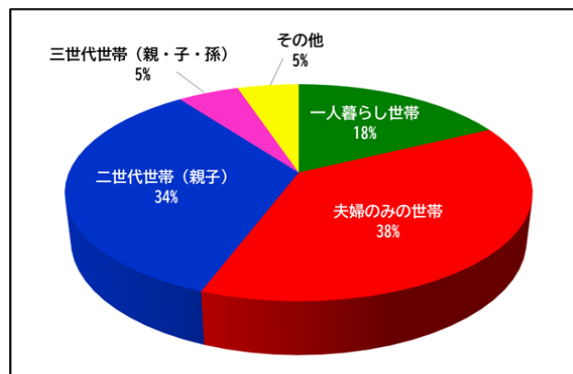


参加者数	84人
アンケート回答者数	79人
回収率	94%

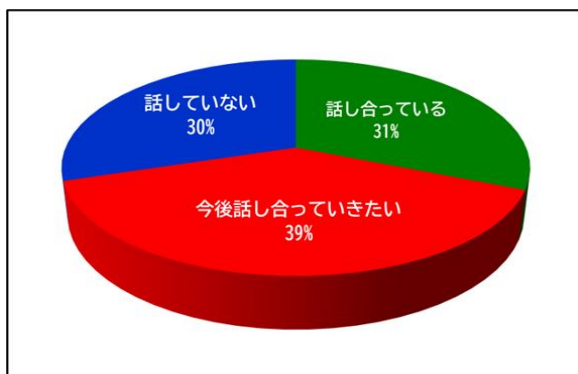
(1)性別・年齢



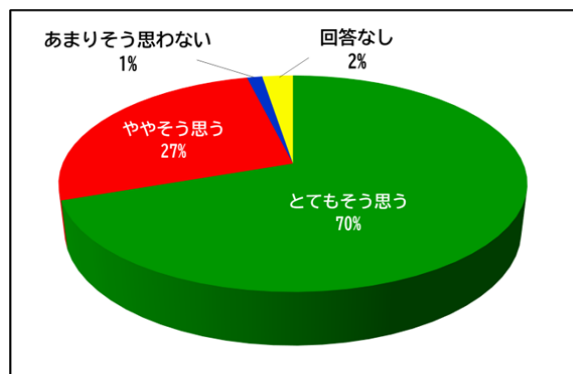
(2)現在、誰と住んでいますか



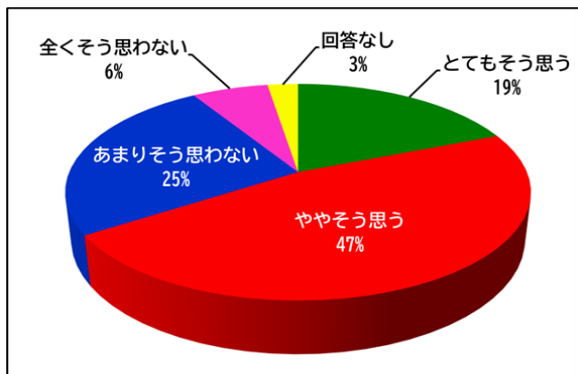
(3)介護が必要になった場合について、
家族と話し合ったことがありますか



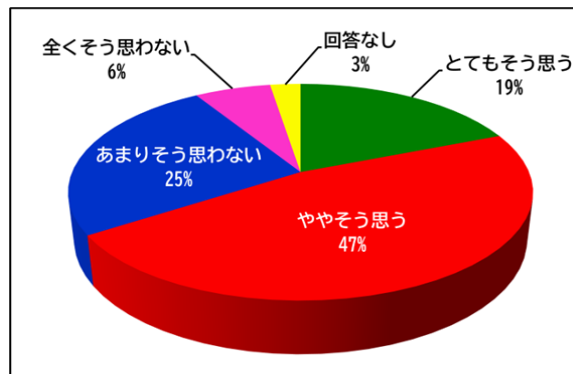
(4)自分や家族の望む医療や介護について、
家族と話しあった方がよいと思いますか



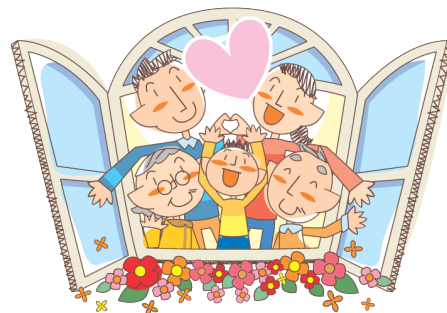
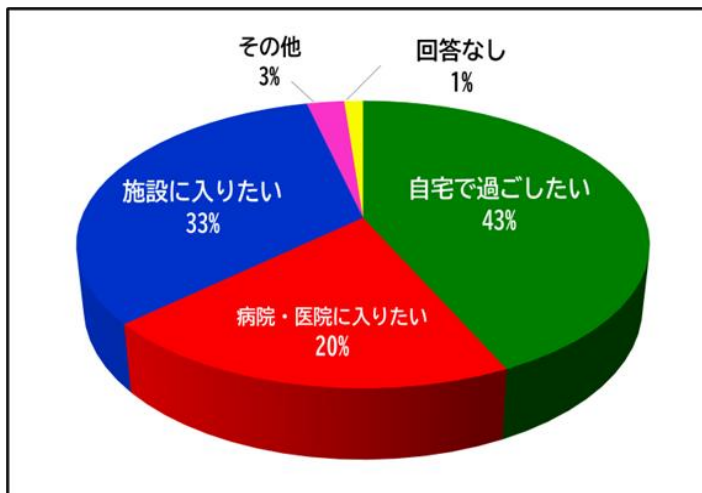
(5)出来れば介護は家族の方が
望ましいと思いますか



(6)介護が必要になったとき、
家族の世話になりたくないと思いますか



(7)介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか



■ 自宅で過ごしたい

- ・自由にできると思う。自分はわがままなようです。
- ・ネコと共に暮らしたい。
- ・体調的に自分でできる場合で、必要に応じて、訪問介護などを利用する。
- ・夫婦二人暮らしをしているが、どちらか一人になった時は、自宅では無理だと思う。
- ・子供夫婦共働きのため、施設もいりけど経済面の事を考えたら、自宅を希望します。
- ・自分でやれる限り、なるべく一人でいたい。
- ・自分が住み慣れた所で、暮らしたいと思う。
- ・介護の程度にもよりますが、できるなら自宅は自由がきいて良いと思います。
- ・住み慣れた家、空間、愛着のある品々の中で自由に暮らしたいが、体の状態で無理なことも考えられるので、最後は施設・病院になるのかなあ。
- ・周りの支援を活用しながら、自分らしく生きていきたい。身体や精神状態により状況は変わってくると思うが、自分らしくがいい。
- ・気が楽だから。
- ・できれば家族と過ごしたいので。
- ・住み慣れた場所がいい。
- ・住み慣れた所で、安心感がある。しかしながら、その状況により病院・施設もやむを得ない。
- ・自宅で過ごしたいが一番。残念ながら、誰もいない。どうすることもできない。
- ・最後は自宅がいいです。
- ・できれば家で過ごしたい。施設に入るにもどの位 お金のことも考えないと…
- ・我が家が一番過ごしやすい。
- ・住み慣れた家で、大切な人と会話をしながら、過ごしたい。行政の助けを受けながら。
- ・介護の度合いにもよりますが、できればなれた所で過ごしたいです。
- ・それまでの生活した環境で、精神的なストレスが少なくてすむ。

■ 病院・医院に入りたい

- ・先生、看護師がいるからいいと思います。
- ・家族に迷惑をかけないように。
- ・安心して過ごしたい。(お互いのために)
- ・病院・医院が安心できる。
- ・子供達に迷惑をかけたくない。

- ・私自身、主人の祖父母、両親の介護を経験。今のような福祉が充実してなかったので、大変さをつくづく感じていた。家族の不自由さ、子育ても思うようにできない時もあり、子供にもストレスをかかえていた。同じようなことはさげたい。
- ・一人暮らしとなった時、持病などあり、独りでは不安。家族に負担はかけたくない。
- ・施設には入りたくない。
- ・施設には入りたくない。

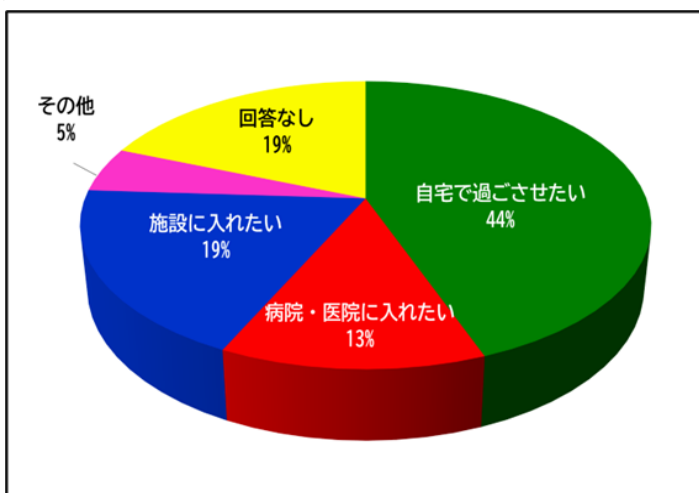
施設に入りたい

- ・施設に入ると入所されている皆様と話し合い、楽しくふれあって世話していただけたらと思う。家族の負担を考える。
- ・家族に迷惑をかけたくない。
- ・娘達の生活も考えますが、最終的には世話になります。
- ・主人一人では介護ができないから。
- ・子供は子供なりの生活がありますから、子供の手をわずらわせないようにしようと考えてます。
- ・家族に負担をかけたくない。
- ・家族に負担をかけたくない。
- ・家族はずっと仕事をしているだろうから。
- ・自分でできる間は自宅で。動けなくなったら施設を考えている。
- ・一人住まいである。面倒をみってくれる人がいない。
- ・家族に迷惑をかけたくない。
- ・家族に負担をかけたくない。
- ・子供達に迷惑をかけたくない。
- ・子供達に迷惑をあまりかけたくないの。
- ・家族に迷惑をかけたくないから。
- ・子供達にも生活があるから。
- ・一人暮らしで、誰にも頼れないので、施設に入らなければいけない。
- ・自宅で過ごしたいと思いますが、家族に迷惑をかけたくない。(娘ならいいが、お嫁さんは頼みにくい)
- ・無理である。
- ・子供は働いているし、わからないから。
- ・家族に迷惑をかけたくない。

その他

- ・介護の状態によりけりです。

(8) 家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか



■ 自宅で過ごさせたい

- ・常に付き添ってする。
- ・自分が元気な時はできるだけ自宅で介護を頑張りたいと思うが、長期になると自信がない。
- ・夫婦どちらが介護するかわかりませんが、協力して自宅で過ごさせます。
- ・本人の希望が一番だが、できれば自宅で。
- ・介護の状態によります。福祉を最大限に使って頑張りたいと思っています。
- ・自宅にいたいと希望している。また、施設に入れる費用も困難。
- ・自宅で過ごすために必要な支援を活用しながら、家族の支援する方又される方に負荷がかからない関係で過ごしていきたい。
- ・どの程度かにもよります。仕事の都合もありますし…負担のかかり具合…でも、本人の希望は自宅かな。
- ・家が一番と思うので。
- ・家で過ごしたいと母が希望しているから。
- ・おそらく本人が家を望んでいると思う。できる所までは自宅で行いたい。
- ・できる所まで見守りたい。
- ・住み慣れた所で安心感がある。しかしながら、その状況により病院・施設もやむを得ない。
- ・自身の健康が許すなら、自ら介護してあげたい。介護される方はやはり家が一番だと思う。
- ・施設は高齢には動きが多いと思います。自由に過ごしたいです。
- ・親や夫なら介護したいと思っています。
- ・施設に入るような人(夫)じゃない。わがままな人だから。
- ・自分は迷惑かけたくないから施設に入りたいですが、妻に介護が必要になれば私が介護したい。
- ・私が介護してあげられる間は、自宅で過ごさせたいですが、手に負えなくなったら、施設にお願いしたい。自宅で過ごすのが一番です。
- ・自分がそう思うように、皆、家がいいと思う。しかし、介護の負担が大きく、背負いきれない日も来るかと思う。どうしようもなくなった場合、どこかへ入院、入所となるのでは。
- ・介護の度合いにもよりますが、できればなれた所で過ごさせたいです。
- ・家族にはわがままがいえる。本人の気持ちを汲んであげられる。
- ・そばにいて、できるだけ世話をしてあげたい。

■ 病院・医院に入れたい

- ・病院・医院が安心できる。
- ・延命治療はしないと日頃話し合っているので、自宅で出来る限りはしたい。最終的にはホスピスでいいと思っている。
- ・「自宅で」とは思うが(本人も)、老々介護は考えただけでも大変だし、無理がある。病院、施設かな。
- ・専門である医師に対応を早くしてもらえる。
- ・高齢で家の中で看るのは大変だと思うから。

■ 施設に入れたい

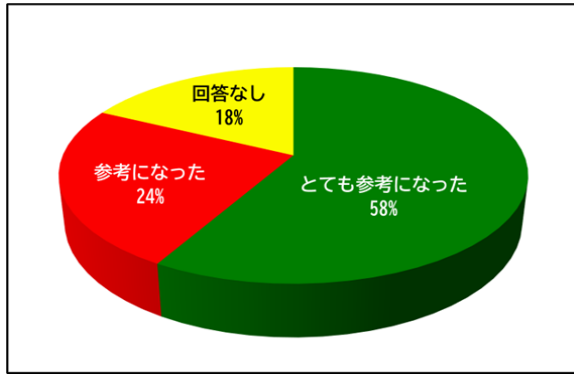
- ・一人住まいなので、不自由なく過ごせるため。
- ・本人のためにはいいかなと思います。
- ・介護ができない。無理な負担をかけられない。
- ・私が介護をできるうちは自宅。無理になれば施設に入れたい。
- ・介護できれば自宅で。無理な時は施設にお願いしたい。
- ・お互い良好な関係を保ちたいので。
- ・自分自身の体力に自信がない。
- ・自分ではできない。

- ・できれば家で介護したい気持ちはあるが、色々なサービスを利用したとしても、なかなか自分自身が自信がない。
- ・自分で介護が出来ない。

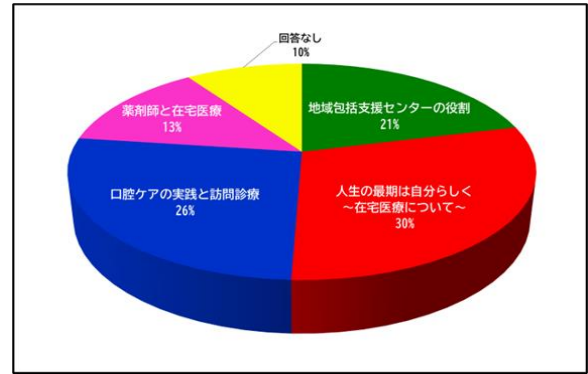
■ その他

- ・母を長い間、施設でお世話になり有難かったです。
- ・家族の気持ちに添う。
- ・本人の希望を第一に考えたい。

(9)本日の講演は参考になりましたか



(10)特に参考になった講演はどれですか (複数回答可)



(11)本日の講演会についてご意見をお聞かせください。

- ・日頃の生活の中で、いっぱい知らないことがあり、本日の講演を聞き、勉強になりました。
- ・今日、人生どう過ごす事ができるか、言葉をいただきありがとうございました。
- ・本日の講演会、非常に良い話でした。家族とも話し、今後の対応を考えます。
- ・自分自身が人生の最後に近づいてきたので、とても参考になりました。
- ・なるべく家族に迷惑をかけないように過ごしたいと思います。
- ・初めて聞く話が多く、参考になりました。今後、相談もしやすくなり、助かります。
- ・自分、家族が介護が必要になった時、予後が短い場合、より納得できる暮らしが出来るように家族で話し合っておく必要があると思った。
- ・大変良かった。
- ・何か心配な点があったら、包括支援センターに行けばいいということがわかって良かった。
まずは、いかに健康でいるかを考えて、日常生活を送りたいと思っている。
家族と最後について話し合いながら、就活をしなければと考える。
介護予防教室を自治会でしているが、この活動を長く続けていけるよう若い人達の理解、協力を求めていきたい。
- ・「包括」とは言葉では聞いていましたが、どんなことを相談したらいいのかわかりませんでした。
何でも相談していいとわかり、助かりました。
- ・大変役に立ちました。次回も楽しみです。感謝します。家族と話したいと思います。
- ・具体的にもっと知りたいと思いました。高齢の一人暮らしの方が地域に沢山いらっしゃいます。
時々、心配になる時があります。自分に出来ることはないかと考える時があります。
- ・楽しく聞かせていただきました。全体的にわかりやすかった。身近に訪問医療を感じさせてもらった。
- ・現在、義母を義実家で同居状態です。今はデイサービス等利用しながら、生活してます。
動ける間はいいのですが、今後の関わり方とか参考になりました。
自分の未来を考えると、早めの終活ではないですが、少しずつ対応準備していけたらと思います。
ありがとうございました。
- ・夫婦二人暮らしなので、今回の課題にはとても興味がありました。元気であれば、いつまでも家で生活したいのですが、体力面、認知面いつまで介護できるか心配です。介護できるうちはできるだけ

- 自宅介護をしたいのですが、できなくなった時、入れる施設があるのかその事も心配です。
- 子供達は遠くにいて、迷惑をかけられないため、こちらの施設があれば入所したいと考えます。
- ・最近コロナ禍で入院しても面会できないため、在宅での看取りを希望される方が増えています。
- もし、自分もその状況となった時は、環境を整えて在宅で過ごしたいと思う。心強い先生達の講演を聞いたので、とても良かったです。
- ・とても勉強になりました。来場しないと聞けないのはもったいないと思いました。
- Web 視聴や配信など対応もしていただけたらと思います。
- ・在宅医療について話を聞き、私もそのようになった時は、家の人と話し合い、良い方法に向きたい。
 - ・テレビでよく包括支援センターと出てくるが、詳しくわかってよかったです。
- 在宅（昔でいう往診）今でもできるのだと知りました。助かります。
- 歯・口・薬の在宅システムがあると知りました。講演会を通じて知る年齢（ネットではなかなか…）大変役に立たせてもらいました。
- ・大変心強く思いました。歯科も訪問診療があることを初めて知りました。
 - ・自分にも訪れるであろう介護について考える良い機会となった。
 - ・在宅介護をされている事をしらなかったのが、知れて良かった。
- 噛むことの大切さー脳の活性化 唾液の役割ーそれぞれの大切さなど。
- ・包括支援センターへの連絡できる時間・曜日を知らなかった。
 - ・参加して良かったです。
 - ・身近な内容でためになりました。
 - ・今日から考えていくきっかけになりました。
- 包括支援センターの役割ー大変お世話になり、色々な相談にも応じて下さり大変助かった者です。
- 色々な役割がこんなにあったとは、初めて知りました。身近な問題にも相談にのって下さるのですね。
- 藤山先生には、私も大変お世話になっています。特に主人の件でも包括センターとの連携等にも気を配って下さり、病気の事、家族の健康等々、気配りしていただきました。本日のお話も本当にありがたかったです。
- また、お口の大切さ、今になって歯の大切さ…すでになくなった歯に後悔中ですが、少なくなった歯を大切にし、お口を清潔にしていきます。残り少ない人生をしっかりとおいしい物をよくかみしめます。
- お話がわかりやすく楽しかったです。
- こんな連携したお話が聞けて、参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・助村先生が若い！姿勢がいい！見習いたい！
 - ・今まで介護の事を考えた事なかったので、とても参考になりました。
 - ・出席者が女性が多く、男性は3%程度だと見受けられる。もっと自治会長、男性がこういう講演会等に参加して社会資源の勉強をしてもらいたい。介護するのは女性だけではない。
 - ・自分のことを（自分の最後を）さらに考える機会になりました。
 - ・大変勉強になりました。
- 在宅の歯科診療の内容について、詳細を知りたかった。口腔内の健康は大切ではあるが、今回のタイトルでは、在宅の方にウエイトを置いた話であってほしかった。
- 在宅の薬剤管理についても、藤山先生のように色々な例をあげての説明があつたら良かったと思う。
- 藤山先生の私見、三大要素は、人生の終末を考えるための大切な指針になりました。
- ありがとうございました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
 - ・ありがとうございました。とても良い取り組みだと思います。制度の変化など都度このようなお話が聞けるとありがたいです。
 - ・後期高齢者に近づいてきて、いつ病気になるか、寝たきりになる等考えさせられました。先のことは早くから考えていきたいと思いました。